



志紀おおぞらこども園 第19号

発行者：岡内郷子 2025、1、20

自由参観にご参加いただき ありがとうございました！

3学期の自由参観はいかがでしたか？

4月の頃の姿と比べると、随分成長した姿が見られたことと思います。今年度も残すところあと、2か月となりました。子どもたちの成長は、早いなあ～と感じますよね。

進級が近づいてくると、保護者の方からこんな相談を受けることがあります。「うちの子、年長さんになれますか？」「小学校に行っても大丈夫でしょうか」「幼児クラスになれますか？」などなど、一つ上の学年になることは、親にとって心配になることは当然のことです。

でも、心配はいりません！子どもたちは、毎日の園生活の中で多くのことを学び、大人が思う以上に成長していますよ！！

あと残ariusくない日々ですが、遊びを通して心も体も成長する子どもたちを保護者の方もあたたかいまなざしで見守りながら、楽しんでください！



“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿” をご存じですか～??

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは、小学校入学までに育みたい資質や能力を10個の視点から具体的な姿として表したものです。

幼児教育は、心の根っこを育てています。その根っこが、いわば人間の基礎で、この根っこが将来の子どもたちの未来を支える柱となります。これは、遊びや人とのかかわりの中で自然と身についていくものです。毎日楽しく過ごしていればしっかり身につけているはずですので、心配はいりません！！安心して下さいね。



だから遊びが大切

『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』のイメージ図です

なるほど…。
こども園では、
色々な力が遊
びの中で身に
つくんだね！



健康な
心と体

自立心

協同性

道徳性・規範
意識の芽生え

社会生活と
の関わり

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

思考力の
芽生え

自然との
関わり・
生命尊重

数量・図
形・文字等
への関心・

言葉による
伝え合い

豊かな感
性と表現